

守って安心！ 高速道路のルール

ルール 1 事前に給油しておく

- 高速道路で「ガス欠」を起こす車が少なくありませんが、**ガス欠を防止するために必要な措置を行うことはドライバーの義務**です。
- 高速道路に入る前に、燃料の残量を確認しましょう。

● 日本自動車連盟(JAF)ロードサービスの出動理由

第1位	タイヤのパンク	33,467件
第2位	燃料切れ	14,557件
第3位	事故	10,627件

※平成23年度、高速道路、四輪自動車に限る

【高速自動車国道等運転者遵守事項違反】

- 罰則……3月以下の懲役または5万円以下の罰金、過失10万円以下の罰金
- 違反点…2点
- 反則金…大型1万2,000円、普通9,000円、二輪7,000円

荷物はしっかり固定しましょう！

- 高速走行中は、風圧が非常に大きくなるため、荷物が転落・飛散しやすくなります。高速道路に入る前や、パーキングエリア等で休憩したときは、荷物の状態をチェックしましょう。



- 【高速自動車国道等運転者遵守事項違反】
- 罰則、違反点、反則金…同下

ルール 2 最高速度制限を守る

- 高速自動車国道…道路標識による指定がない場合、車種により**時速80キロまたは100キロ**

※危険防止上やむを得ない場合などを除き、道路標識による最低速度の指定がない場合、時速50キロ未満で走行してはなりません。

高速自動車国道の最高速度制限

時速80キロ	■ 大型貨物自動車
	■ 特定中型貨物自動車 (車両総重量8トン以上、最大積載量5トン以上のいずれかに該当する中型貨物自動車)
時速100キロ	■ トレーラ ■ 大型特殊自動車
	■ 大型乗用自動車 ■ 中型乗用自動車
時速100キロ	■ 特定中型貨物自動車を除く中型貨物自動車 ■ 普通自動車
	■ 大型自動二輪車 ■ 125ccを超える普通自動二輪車

- 自動車専用道路…通常、道路標識により指定
- ※道路標識による指定がない場合、時速60キロ

【速度超過】

- 罰則……6月以下の懲役または10万円以下の罰金、過失3月以下の禁固または10万円以下の罰金
 - 違反点…1～12点(超過速度による)
 - 反則金…大型1万2,000～4万円、普通9,000～3万5,000円、二輪7,000～3万円
- (超過速度による。40キロ以上の超過は即、罰則適用)

ルール 3 追越しのとき以外は、左側の車線を通行する

- 原則として、**追越しをするとき以外に一番右側の車線(追越車線)を走行することは禁止**です。
- 追越しのとき以外は、できる限り、追越車線以外の「走行車線」を走行しましょう。
- 追越し後も、追越した車との距離を十分とったうえで、なるべく早く走行車線に戻しましょう。

【通行帯違反】

- 罰則……5万円以下の罰金、過失同じ
- 違反点…1点
- 反則金…大型7,000円、普通6,000円、二輪6,000円

ルール 4 Uターンやバックをしない

- 高速道路では**Uターンやバックは禁止**です。
- インターチェンジを行きすぎてしまった場合は、次のインターチェンジで下りて戻りましょう。
- サービスエリア等を行きすぎてしまった場合は、次の施設を利用しましょう。



【本線車道横断等禁止違反】

- 罰則……3月以下の懲役または5万円以下の罰金
- 違反点…2点
- 反則金…大型1万2,000円、普通9,000円、二輪7,000円

流入時は、進行方向をしっかりと確認

- インターチェンジ・サービスエリア等から本線に流入する際、誤って逆走するケースがありますので、しっかりと流入路を確認して走行しましょう。



臨時交通規制を守りましょう！

高速道路では、天候の悪化や事故、工事などの際、道路上の安全を確保するために最高速度を変更する場合があります。

規制速度を守り、道路状況や気象状況に応じて速度を調節し、安全に走行しましょう。





高速道路の事故防止ポイント

1 流入車に目配り



- 強引に流入してくる車と接触する危険があります。

2 減速車線でスピードダウン



- カーブを曲がり切れず防護柵に接触する危険があります。

3 速度を意識的にキープ



- 特にトンネルの出入り口では明るさの変化に目がくらんで、無意識のうちに速度が変化しがちです。

4 勾配を読みとる



- 平坦に見えるゆるやかな勾配でも自然に加速・減速し、追突事故を招く危険があります。

5 大型車に接近しない



- 大型車に追従すると、前方の視界が遮られ、危険の発見が遅れます。

6 先行車に目配り



- 工事や料金所渋滞などで先行車が急に減速することもあります。



故障や事故時の措置

1 路肩に停止

完全に走行不能になる前に、ハザードランプを点灯して路肩に停止しましょう。本線車道での停止は危険です。



2 乗員の避難

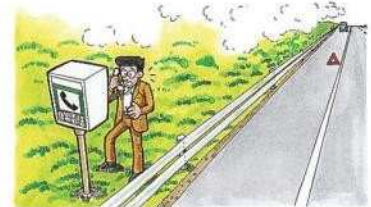
他の乗員がいる場合は、ガードレールの外側など安全な場所に避難させます。ただし、本線車道を横断しての避難は厳禁。



4 非常電話等での通報

最寄りの非常電話またはお持ちの携帯電話で#9910(道路緊急ダイヤル)にダイヤルし、故障・事故の発生を通報しましょう。

※非常電話は1kmおき(トンネル内は200mおき)に設置されています。



3 停止表示器材を設置

発炎筒などを使用して後続車に合図し、後続車に十分注意しながら停止表示器材を故障・事故車の約50m後方に設置する。

※高速道路において故障・事故・病気などの理由で停止した場合には、停止表示器材を設置することが法令により義務づけられています。

【故障車両表示義務違反】

- 罰則……5万円以下の罰金
- 違反点…1点
- 反則金…大型7,000円、普通6,000円、二輪6,000円



※夜間は、懐中電灯を路上の適当な場所に置き、停止車を照らし出すようにするのも効果的

5 レッカー等を要請

レッカー移動や車の修理が必要な場合、最寄りの非常電話またはお持ちの携帯電話で#9910にダイヤルすると、担当者から登録された業者などを紹介してもらえます。

※独自で業者に連絡した場合でも、必ず非常電話や#9910に通報しましょう。